



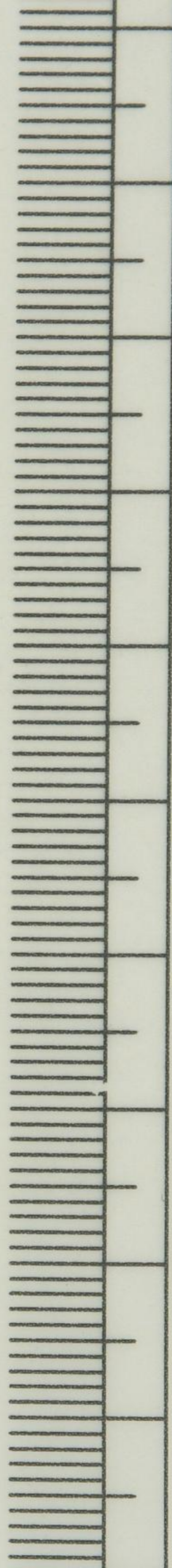
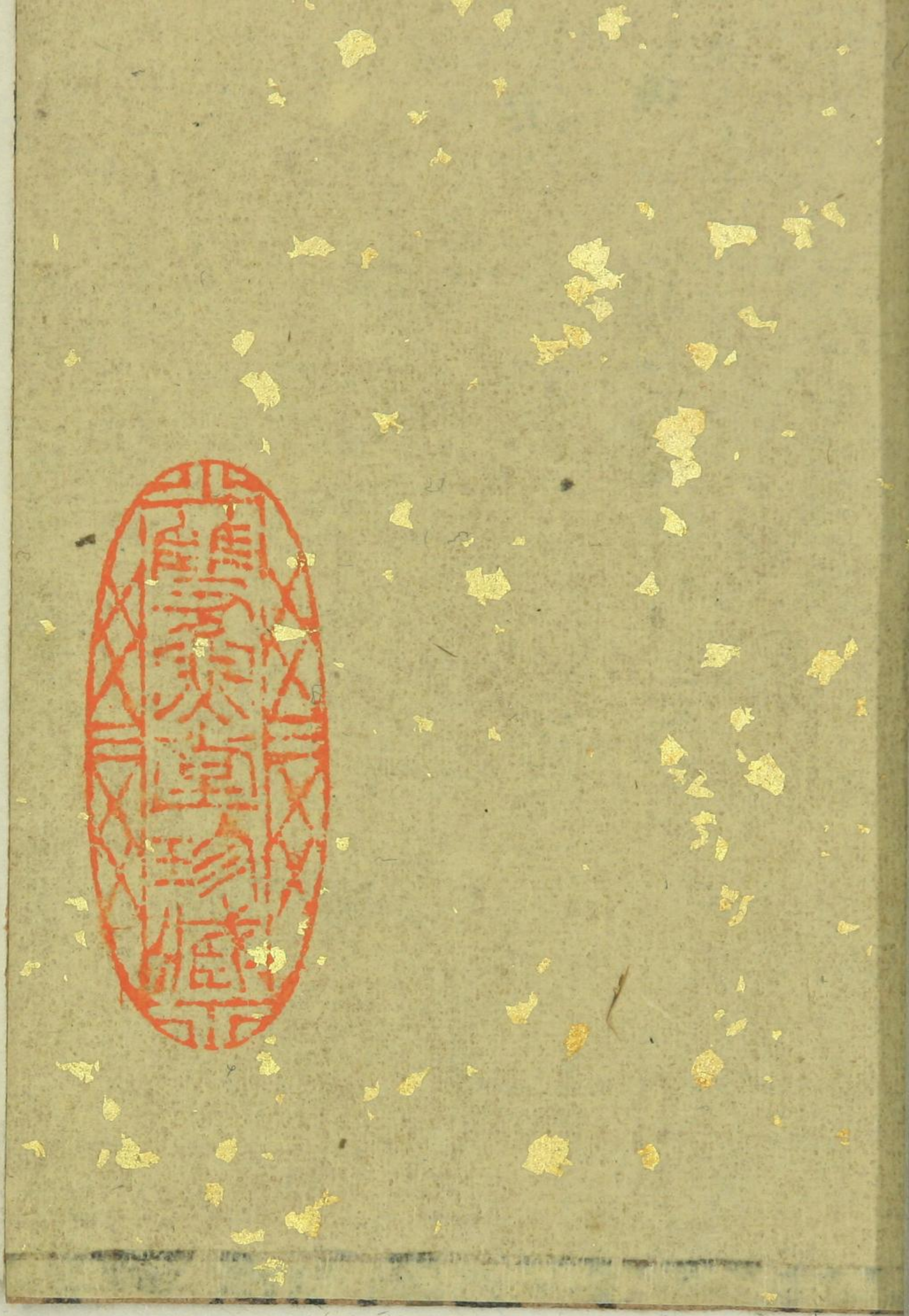
お返しに所出の書の中、  
控系と何れは如何に扱作  
出典は後日詳ある事あり  
思ふに控系は古く古く  
感得の書なり 拙作の周より  
道を通りて未だ未だ感得  
相在る人より一顧を相  
見給ふは 怪書なり 彼の  
所より一寸古き控系  
の書あり或は 先生に  
留目を留ばるる尚多指  
し 拙作に 拙作に  
心得ありあり日擧る事  
も 拙作に 拙作に  
余等も 初めの日擧る事  
ありあり 感得の書なり  
果して是ナ物なり 拙作  
今更らるる皆なり 拙作  
書に 拙作に 拙作に  
朝読人より 拙作に 拙作に  
人の 拙作に 拙作に  
有る 拙作に 拙作に  
是より 拙作に 拙作に  
乃が 拙作に 拙作に  
力を 拙作に 拙作に  
尚の 拙作に 拙作に  
此上 拙作に 拙作に  
の 拙作に 拙作に  
此 拙作に 拙作に  
此 拙作に 拙作に  
此 拙作に 拙作に

七月十四日  
為

市島先生

控系





75

80